

平成 2 5 年 第 7 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 5 年 4 月 9 日（火）午後 1 時

場 所：教育委員会室

委員長	松	原	秀	成
委員長職務代理者	早	川	大	府
委員	尾	上	郁	子
委員	石	井	正	治
委員（教育長）	浅	野	潤	一

事務局	教育推進課長	柴	田	靖	弘
	学務課長	住	田	雅	一
	指導室長兼教育研究所長	松	井	慎	一
	学校施設担当課長	佐	藤	弥	栄
	統括指導主事	浜	田	真	二
	指導室事務係主査	妻	鳥	圭	介

書記	教育委員会事務局				
	教育推進課庶務係長	丸	山	継	典
	同 主査	飯	田	常	雄

	開 会 時 刻 午後 1 時
松 原 委 員 長	ただ今から、平成 2 5 年第 7 回教育委員会定例会を開催いたします。本日は 3 名の方から傍聴の申し出がありますが、許可してよろしいでしょうか。 〔各委員了承〕
委 員 長	それでは、傍聴人の方の入室を許可します。 〔傍聴人入室〕
委 員 長	日程第 1、署名委員を決定します。尾上委員と浅野委員にお願いします。 日程第 2、教育関係事務報告にまいります。最初に、指導室からお願いします。
松井指導室長	指導室より 2 点、報告をさせていただきます。 はじめに、今年度の新規採用教員及び期限付任用教員の採用状況についてですが、昨年度期限付任用教員で、今年度正規教員となった 2 0 名を含んで、4 月 1 日付新規採用教員は小学校で 7 5 名、中学校で 3 3 名、合計 1 0 8 名です。本日 4 月 9 日付現在、小学校 4 名、中学校 1 7 名の計 2 1 名を任用し、正規の新規採用教員と期限付採用教員を合わせて 1 2 9 名となります。 昨年度は、正規及び期限付合わせて 2 2 2 名でした。今年度は昨年度と比較すると約半数となりましたが、これは小・中学校ともに定年退職者の再任用が多かったこと、また普通退職者、勸奨退職者が少なかったこと、これらの理由により、昨年と比べて新規採用教員の需要が減少した結果と思われます。以上、新規採用教員及び期限つき任用教諭の任用状況について、ご報告させていただきました。
委 員 長	今の任用につきまして、ご質問等があればお願いします。
早 川 委 員	小学校、中学校 1 0 8 名ということですが、社会人出身の先生というのはいらっしゃるのですか。
指 導 室 長	そういう者もおります。現段階で、一人一人の詳細については、詳しい資料はございません。

早 川 委 員	男女別はわかりますか。
指 導 室 長	小学校が男性３８名、女性４１名、中学校は男性３０名、女性２０名という状況です。
委 員 長	そのほか何か。
石 井 委 員	本件とはちょっと筋が離れてしまうかもしれませんが、再任用のことについてお伺いしますが、再任用の基準というのは、どうようになっていますでしょうか。
指 導 室 長	基本的には、本人の希望と現任校の管理職の評価です。
石 井 委 員	ありがとうございます。
委 員 長	まだ学級数がまだ決まってない学校は何校ぐらいあるのかということと、その場合、今後任用される教員の予定がわかりましたら教えていただきたいと思います。
指 導 室 長	昨日付で学級数のほうが確定しておりますので、恐らく４月１６日付採用になると思いますが、期限付教員の採用を予定しております。小学校１１名、中学校８名を予定しております。
委 員 長	計１９名ということですね、ありがとうございました。 その他、よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委 員 長	ほかになれば、ただいまの報告事項を了承といたします。 次の報告をお願いします。
指 導 室 長	それでは、続きまして後援名義使用申請のご報告をさせていただきます。 行事名が、第８回江戸川の稚アユ救出作戦です。申請者が、利根川・江戸川流域ネットワークというボランティア団体でございます。事業目的は、区民の里川である江戸川のアユの生態やそれにかかわる課題について広く啓発

	し、命の大切さ、河川とその環境愛護の心を育むことです。今年度は4月20日（土）を予定しております。参加費は、一人200円ということで、それについては小学校3年生以上、区内の6校を対象に、募集をするということになっております。以上です。
委員長	何かご質問等があれば、お願いします。
石井委員	6校以外から募集が来た場合は、どういうふうに対応されていらっしゃるのでしょうか。
指導室長	募集の呼びかけ自体を、その6校に限定しているということでございます。
尾上委員	6校の指定というのは、どういう基準で6校を選出されているのでしょうか。
指導室長	開催会場の江戸川水門前に近い学校と、それからボランティア、主催者の関係者の近い学校ということで聞いております。
早川委員	前回の参加者は何人ぐらいでしたか。また、事故等の報告は、ありましたか。
指導室長	前回の参加人数は287名です。また、昨年までのところでは事故の報告は入っておりません。
委員長	ほかにご意見はございますか。
	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委員長	なければ、ただいまの報告は了承ということで、次にいきたいと思います。教育研究所からお願いします。
松井 教育研究所長 （指導室長）	いじめ電話相談の、平成24年3月分のご報告をさせていただきます。 3月分のいじめ電話相談は2件ございました。小学校4年生、5年生ということで。主訴については9項目あります。これは一つの事例の中で複数あるということでございます。電話はそれぞれの保護者のほうから電話がとい

	うことでございます。
委員長	何かご質問あれば、お願いします。
早川委員	概略の説明をお願いします。
教育研究所長	まず1点目の事例ですけれども、本人が自らの髪の毛を抜くということから発覚して、これがストレスではないかということ、もしかしたらいじめがあるのかもしれないということでの相談です。学校が本人に聞いてもなかなか答えないということで、教育委員会を通して、この状況を把握してほしいということで、学校と指導室で連携をとって父親から話を聞いたということです。 父親としては、学校との関係修復ということをお願いしておりますが、学校としては、本人へのいじめというのは見当たらないということでした。現在学校に直接連絡をして、その後の状況について確認をしているところです。 もう一点の事例ですけれども、9月に転入後しばらくして、五、六人のクラスメートから蹴られたり、首を絞められたり、からかわれたり、そういうことがあり、本人は自分なんかいなくなればいい、死にたいというようなこと言っていたそうです。担任の先生に相談をして、一度は治まりましたが、保護者の相談は継続しております。保護者から見ると、本人の状況は変わってないんじゃないかということです。 当初、五、六人から蹴られたりしたところが人数は少なくなったんですが、継続的に一人、二人から、からかわれたり首を絞められたりということが続いているということです。母親は初めは本人に電話相談を勧めましたが、知らない人に相談したくないということで、母親が代わりに電話相談をしてきたということです。男の子同士の関係について、お互いさまというような考え方もあり、保護者がどこまで介入したらいいのか、親としてどのように対応していいかということで、相談になっております。 これについては研究所の研究員と指導主事が相談して、実際に暴力ですとか直接的な言葉のやりとりがあるものですから、学校に連絡をして、学校からの指導ということになっております。その後の状況については、先ほどの件と同様で、まだ報告を受けておりません。
早川委員	いずれも学校名や担任の先生も全部わかったわけですね。

教育研究所長	はい。
早 川 委 員	それは、ご本人というかご両親というかが、名乗ったということでしょうか。
教育研究所長	名乗ると同時に、相談段階では、このことを学校に伝えていいかということの保護者の了解を得て、進めております。
石 井 委 員	1 件目ですが、髪の毛を抜くというのはわかったんですが、直接の原因というのは、友達同士のことでしょうか、あるいは子どもさんと親御さんとの関係ということでしょうか。実際にどういうことが一番の問題なのかというのがよく理解できませんでしたので、お願いします。
教育研究所長	具体的な事実が見えていないため、現在確認している状況でございます。
委 員 長	2 例目の5年生の子の状況が、まだよく見えないので不安に感じます。小学校ですから、始業式が終わって、まだ1日しかたっていないんですけども、ぜひ現場が危機意識を持って、かかわってもらいたいと思います。指導主事も、継続的に捉えていただきたいと強く思います。ぜひよろしくお願いします。
尾 上 委 員	9月以降ということは2学期ですよ、そうしますと、5年生というクラス編制が多分あったんじゃないでしょうか。そういうところの対応、例えばいじめた子の関係など、どのように具体的に進めてきたかということも、報告いただければと思います。
教育研究所長	相談所の相談から始まって、最終的に相談で終わるということではありあせん。その子どもの状況が改善されなくてはいけないということで、当然学校とどのように連絡をとるのか、子どもの状況が仮に改善されとしても、そのことをもう一度相談所にもフィードバックするとか、その辺の情報連携からしっかりできるように、私のほうでも改めて確認をさせていただきたいと思っております。
委 員 長	よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。

石 井 委 員	死にたいという言葉が出てきているのは、かなり重大、重篤なサインだと思っております。死にたいと言った、その先まで本当に行動が進んでしまうということがないよう、未然に防ぐような行動も、とっていただければと思います。
委 員 長	ぜひ、よろしくご指導お願いしたいと思います。その他、よろしいでしょうか。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委 員 長	それでは、この案件につきましては、了承いたします。 あと1件、学務課からございます。
住田学務課長	平成25年度の学級編制4月1日現在ということで、小学校、中学校の児童・生徒数と学級数の報告をさせていただきます。 なお、実際の学級編制は4月7日付で改めて行われますので、今回の4月1日付は、速報値というような位置づけになります。1番のところは通常学級の全児童、生徒数、学級数ですが、小学校の児童数は3万5,509人で、学級数1,153学級ということで、前年に比べて802人減少し、18学級減少しております。 中学校の生徒数のほうは1万6,215人、455学級ということで、60人増加し、7学級増加しているというような状況であります。 2番目のところで、1学級の平均の児童・生徒数ということで計算したものが表になっておりますが、小学校、中学校とも1学級当たりの児童・生徒数は、若干減っているような状況にあります。 3番目のところで、過去5年の児童・生徒数の推移を挙げています。小学校のほうは平成21年度の3万7,795人が、直近のピークになっておりまして、4年続けて連続して減少しているという状況です。中学校のほうは、まだ若干増えておりますけれども、この小学校の状況から、一、二年で減少に転じる見込みだというふうに予測しているところであります。報告は以上です。
委 員 長	何かご質問があれば、お願いします。
石 井 委 員	非常に些細なことなのですが、表のつくり方としまして、時間軸を統一的

	に作っていただいたほうが、わかりやすいと思います。
委 員 長	よろしくお願いします。
早 川 委 員	小学校は今年だけでも 8 0 0 人子どもが減り、 1 8 学級減っています。来年も同じような傾向を想定されているのでしょうか。
学 務 課 長	小学校については、来年も減っていくというような推計が出ております。
委 員 長	ほかによろしいでしょうか。
	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
委 員 長	それでは、ほかにはないということで、ただいまの報告事項を了承といたします。 以上をもちまして、平成 2 5 年第 7 回教育委員会定例会を終了といたします。 閉会時刻 午後 2 時 0 2 分